

平成25年度 見附市 特別活動部 活動報告

部長 木原 貴徳

1 研究主題

望ましい集団づくりを通じて、児童生徒のよりよい生活と個性の伸長を図る。

2 研究の概要

集団づくりの取組を会員同士で紹介し合ったり、外部講師を招いて研修したりする活動を通して、会員の力量向上や所属校の生徒指導上の諸問題解決に役立てる。

3 研究の実際

今年度は、講師に上越教育大学准教授 橋本定男先生をお招きして、講演や会員相互の情報交換を行った。

主な内容は以下の通りである。

平成25年10月3日(木)15:00～16:30 見附中学校会議室

【講演】

- 楽しい活動づくり 「学習」志向と「生活」志向
「秩序」志向と「自由」志向

★上の志向のバランスをとりながら、『問題に強い学級づくり』、
『負に正対する学校づくり』ができるとうい。

- さまざまなエピソードより

例：中学校の合唱コンクール、小学校の大縄大会

★始めに問題があった方が乗り越える力がつく。そのときの教師の支援が最も重要となる。

- 「沈黙の討議」というやり方

痛みのある学び、温かさや厳しさのある学級づくり・生活づくり

【ワークショップ】

- よく盛り上がった活動
- 子どもが自主的に取り組んだ活動

【教育課程伝達講習】

見附市立今町小学校 渡邊 祐子先生より

4 成果と課題

橋本先生からは、「温かい学級、強い学級」をテーマに講演をいただいた。単なる仲良さし集団ではなく、問題に対して自分たちで乗り越える力強さと仲間を包み込む温かさの両面がバランスよく育っていかないと真の集団にはなっていないということを改めて実感させられる研修となった。ワークショップでは、自分の指導を振り返る貴重な時間となった。教師主導ではなく、子どもがいきいきとできる活動やドラマのある活動を仕組んでいく工夫が今後大切になっていくことが分かり、今後につながる研修となった。